

今回のインタビューは、海田町在住で広島市平和文化センター証言者の阿部 静子さんにお願いしました。
聞き手／岡田 良訓 委員



核兵器をなくして再び被爆者をつくらない

広島市平和文化センター証言者

あべ しずこ
阿部 静子さん

現在どのような活動をされていますか。

原 爆資料館地下の会議室で、毎月平均六から十回、修学旅行の生徒さんなどに被爆体験や原爆の恐ろしさ、平和の大切さを話しています。

どこで被爆をされたのですか。

十 八歳の時、中野の砂走（現在の中野一丁目）から、勤労奉仕隊として市内の平塚町（爆心地から約一・五キロメートル）に出ていました。そこで、多くの中学生とともに被爆しました。

今まで辛かったことはありますか。

火 傷の跡がなかなか治らず、辛かったです。また、多くの被爆者の方々が、がんで亡くなられていくことに心を痛めました。

平和教育で町に望むことはありますか。

以 前、海田東小学校で全校生徒に被爆体験を話しましたが、できれば町内全小学校の高学年ぐらいにお話しさせていたきたいです。

語り部をして良かったことは何ですか。

聞 き手の生徒さんが「今まで学校で勉強はしてきたが、直接被爆者の方から証言を聞くことができて

大変良かった」と言ってくれた時や、お礼の手紙をもらった時などにやりがいを感じます。

平和は人類全体の願いです。今後ますますのご活躍を期待しております。本日はお忙しいところ、本当にありがとうございました。

